

都におけるバリアフリー化の進捗状況について（令和2年度末）

1 交通機関、道路等

(1) 交通機関におけるバリアフリー化

① 都内鉄道駅（JR・私鉄・メトロ・都営地下鉄）のバリアフリー化の進捗状況

○「鉄道駅エレベーター等整備事業」の令和2年度補助実績：5駅

＜都内鉄道駅のバリアフリー化の進捗状況＞

（累計）

	令和2年度末の状況		
	全駅数	整備済駅数	整備率（％）
「エレベーター等による段差解消」の整備状況	758	735	97.0%
「だれでもトイレ」の整備状況（路面電車の駅を除く）	718	697	97.1%
「視覚障害者誘導用ブロック」の整備状況	758	757	99.9%
「ホームドア、可動式ホーム柵」の整備状況	758	364	48.0%

② 都内のノンステップバス車両の普及状況

○「だれにも乗り降りしやすいバス整備事業」の令和2年度補助実績：9両

○都営バスについては、平成24年度に全車両ノンステップ化を完了

＜都内のノンステップバス車両の普及状況＞

（累計）

	令和2年度末の状況		
	全車両数	整備済車両数	整備率（％）
民営バス	4,308 両	4,062 両	94.3%
都営バス	1,526 両	1,526 両	100.0%
合計	5,834 両	5,588 両	95.8%

③ ユニバーサルデザインタクシー車両の導入支援状況

＜補助実績＞

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
3台	77台	3,276台	5,688台	3,800台

【取組の成果】

- 都内の鉄道駅については、エレベーター等による段差解消、だれでもトイレ、視覚障害者誘導用ブロック、ホームドア等の整備が進み、バリアフリー化は着実に進展している。
- 地域の身近な移動手段であるバス車両のノンステップ化は、都営バスについては100%を達成しており、民営バスについても購入経費の一部を補助することにより導入促進を図っている。
- 環境性能の高いユニバーサルデザインタクシー車両の導入支援により、都内タクシー約5万台のうち約1万3千台の転換を令和2年度までに達成した。

(2) 道路におけるバリアフリー化

① 都道のバリアフリー化の進捗状況

○ 整備実績

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
21km	21km	30km	39km	16km

※平成28年3月に「東京都道路バリアフリー推進計画」を新たに策定、
令和2年度末時点で同計画に基づく都道の対象延長180kmのうち、135kmを整備、
整備率は75%

② 高齢者等・視覚障害者用の信号機、エスコートゾーンの整備状況

○ 整備実績

(累計)

	平成28年度末時点 の整備箇所数	平成29年度末時点 の整備箇所数	平成30年度末時点 の整備箇所数	令和元年度末時点 の整備箇所数	令和2年度末時点 の整備箇所数
歩行者感应式信号機 (旧：高齢者等 感应式信号機)	659 箇所	679 箇所	669 箇所	672 箇所	673 箇所
視覚障害者用信号機	2,336 箇所	2,419 箇所	2,467 箇所	2,757 箇所	2,863 箇所
エスコートゾーン	580 箇所	615 箇所	653 箇所	693 箇所	716 箇所

【取組の成果】

- 歩行者感应式信号機、視覚障害者用信号機、エスコートゾーンの整備を計画的に推進し、横断歩道上における歩行者や視覚障害者の安全性を向上させている。

(3) 面的なバリアフリー整備

① 東京都施行市街地再開発事業の実施状況

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
2地区	1地区	1地区	2地区	2地区

② 東京都施行土地区画整理事業の実施状況

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
5地区	4地区	4地区	4地区	1地区

③ バリアフリー基本構想等の「重点整備地区」「促進地区」での整備状況

○ 基本構想策定に係る補助実績

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4区	3区	2区	0区	1区1市

○ 移動等円滑化促進方針策定に係る補助実績

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
—	—	—	—	1 区

○ 令和2年度末時点で、都内 21 区 9 市（91 地区） で基本構想を策定、1 区（4 地区） で移動等円滑化促進方針を策定し、面的なバリアフリー整備を実施

【取組の成果】

- 事業の進捗に伴って指定地区や重点整備地区は増加しており、地区内においては、面的なバリアフリー整備に取り組んでいる。
- 指定地区や重点整備地区等のある区市町村では、面的整備のノウハウが蓄積されるとともに、ユニバーサルデザインの理念の普及啓発にも取り組んでいる。

2 施設等

(1) 建築物等におけるバリアフリー化

① 福祉のまちづくり条例の運用状況

＜福祉のまちづくり条例に基づく特定整備主による工事着手前の届出件数（実績）＞

平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
1,244 件	1,217 件	1,216 件	1,234 件	990 件

② バリアフリー法の運用状況

＜バリアフリー法の新規認定件数（実績）＞

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
22 件	18 件	13 件	18 件	13 件

※令和 2 年度の認定実績数は都の認定件数のみを記載（今後、区市の認定件数等を調査予定）。

③ 宿泊施設のバリアフリー化事業の実施状況

○ 補助実績

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
10 件	5 件	14 件	41 件	38 件

※額確定状況（令和 4 年 2 月末時点）

④ 赤ちゃん・ふらっと事業

○ 整備実績

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
99 か所	55 か所	53 か所	37 か所	16 か所

・令和 2 年度末時点で、「授乳やおむつ替え等のスペース」を設置：1,543 か所

【取組の成果】

- バリアフリー法や建築物バリアフリー条例、福祉のまちづくり条例に基づき、毎年度、相当数の建築物のバリアフリー化が進んでいる。

(2) 公園におけるバリアフリー化

都立公園の整備状況

○ 福祉のまちづくり条例に沿って整備した新規開園面積

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
7.0 ha	2.9ha	6.2ha	4.1ha	3.9ha

【取組の成果】

- 全ての利用者が安心して、快適に利用できる都立公園の整備が着実に進んでいる。

(3) 公共住宅の整備

① 都営住宅のバリアフリー化の進捗状況

○ 建替実績

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
3,855 戸	997 戸	2,494 戸	3,289 戸	2,006 戸

○ 既設都営住宅の住宅設備改善等実績

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
高齢者向け改善(※)	4,162 戸	3,797 戸	3,595 戸	3,389 戸	2,858 戸
障害者向け改善(※)	381 戸	377 戸	282 戸	266 戸	206 戸
エレベーター設置	34 基	34 基	34 基	31 基	31 基

(※) 高齢者向け改善・・・高齢者からの要望を受け、玄関、便所、浴室などへの手すり設置、浴室出入口戸を中折れ戸に取替え、玄関内外部にインターホン設置、玄関ノブをレバーハンドルに取替えを行うなどの改善のこと

(※) 障害者向け改善・・・障害者からの要望を受け、玄関、便所、浴室などへの手すり設置、台所に火災・ガス漏れ警報及び遮断装置付メーターの設置、玄関内外部にインターホン設置を行うなどの改善のこと

② 区市町村公営住宅のバリアフリー化の進捗状況

<補助実績>

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
79 戸	36 戸	433 戸	62 戸	86 戸

③ 民間住宅のバリアフリー化の進捗状況

<サービス付き高齢者向け住宅等の供給実績>

(累計)

平成 28 年度末	平成 29 年度末	平成 30 年度末	令和元年度末	令和 2 年度
18,653 戸	19,714 戸	20,751 戸	21,764 戸	22,819 戸

【取組の成果】

- 公共住宅や民間住宅において、ハード面のバリアフリー化のほか、福祉サービスと連携した住宅供給を促進している。このほか、高齢者や障害者の居住する住宅の改修を支援するなど、高齢者や障害者が安全で安心して暮らせる住環境の整備が進んでいる。

3 災害時・緊急時に備えたまちづくり

- 帰宅困難者対策における要配慮者への支援

（令和2年度末時点の実績）

一時滞在施設戦略アドバイザーの派遣 25回

一斉帰宅抑制普及啓発動画の配信 約22,000回再生（累計）

- ヘルプカード作成促進

（令和2年度末時点の実績）

作成、配布：52区市町村（累計）

- 避難所におけるバリアフリー化

社会福祉施設等の耐震化の促進を実施

【取組の成果】

- 災害時における要配慮者対応の普及啓発やヘルプカードの作成で区市町村を支援するなど、災害時及び緊急時に備えた取組を進めている。

4 情報バリアフリー

情報バリアフリー・情報提供の推進（主な実績）

○ 点字による即時情報ネットワーク事業

（令和2年度の実績）

点字版 実施回数 240回 延配布者数 24,000人

○ 点字録音刊行物作成配布事業

（令和2年度の実績）

都刊行物：年間 12種類 1種類につき、点字：723部 録音物：1,130部

○ 手話のできる都民育成事業

＜修了者数＞

（累計）

平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末
8,510名	8,902名	9,304名	9,714名	9,801名

○ 東京ひとり歩きサイン計画

※ 外国人旅行者や障害者、高齢者が安心して東京の観光を楽しめるように、ピクトグラム（絵文字）や多言語で表記した観光案内標識を設置するとともに、平成26年度改訂の「国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針」に基づき、各区市町村に対して、案内サインの統一化を周知・促進する。

＜整備実績＞

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
88基	106基	71基	133基	106基

・令和2年度末時点で 554基を整備

【取組の成果】

- 障害者の福祉の向上や社会参加の促進に向けた取組を進めるとともに、ピクトグラムや多言語で表記した観光案内標識の設置など、様々な手段により情報バリアフリーを推進している。

5 心のバリアフリー

○ 普及啓発の充実

- ・「区市町村・事業者のための『心のバリアフリー』及び『情報バリアフリー』ガイドライン」の作成（平成 27 年度）
- ・心のバリアフリー・情報バリアフリー研究シンポジウムの開催（平成 28 年度・平成 29 年度）
- ・心のバリアフリー普及啓発ポスターコンクールの実施（平成 28 年度～） ※
- ・「心のバリアフリーに関する事例収集及び意識調査」の実施及び高校生向けリーフレットの作成・配布（平成 28 年度）
- ・1 都 3 県共同での障害者等用駐車区画の普及啓発活動（平成 28 年度～）
- ・「『心のバリアフリー』の実践に向けたハンドブック」の作成（平成 29 年度）
- ・東京都「心のバリアフリー」サポート企業連携事業の実施（平成 30 年度・令和元年度）※

※心のバリアフリー普及啓発ポスターコンクール及び東京都「心のバリアフリー」サポート企業連携事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し令和 2 年度は実施を見送った。

○ ヘルプマークの推進

＜配布個数＞

（累計）

平成 28 年度末	平成 29 年度末	平成 30 年度末	令和元年度末	令和 2 年度
約 165,000 個	約 219,000 個	約 300,000 個	約 370,000 個	約 415,000 個

○ 身体障害者補助犬給付事業

＜給付実績（盲導犬・介助犬・聴導犬）＞

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
18 頭	12 頭	8 頭	5 頭	11 頭

○ 駅前放置自転車対策の進捗状況

＜放置自転車等※の台数の推移＞（※原動機付自転車及び自動二輪車を含む。）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
34,247 台	31,326 台	27,332 台	25,008 台	21,035 台

○ 福祉教育の充実

小中学校 1,898 校、都立高校 190 校で福祉教育を実施

【取組の成果】

- 心のバリアフリーに向けた様々な普及啓発に取り組むとともに、障害者の社会参加を促す取組等を進めることで都民の理解促進を図り、心のバリアフリーを推進している。